

設立の趣旨について

近年の交通・通信手段の発達により、海外旅行者の数はめざましく増加し、また、世界中の出来事が即座に伝えられるようになりました。このような時代に生きる私達は、もはや国家という単位ではなく、国際社会の一員として物事をとらえていかなければならないのではないのでしょうか。しかし、現在経済大国となった日本は、国際的な活動をもっと積極的に押し進め、世界に対してより大きな役割を果たすことができるのではないかと指摘されています。

渥美国際交流奨学財団は、1993年10月14日に物故いたしました渥美健夫鹿島建設名誉会長の遺志により、このような状況にあります日本の国際化の推進にささやかながらもお役に立ちたいという願いをこめて設立されました。当財団は諸外国から日本の大学院に留学している優秀な学生に対し、奨学援助をいたします。日本にやって来た留学生が、学問を成就するだけでなく、豊かな文化や社会に触れ、より大きな収穫を得ることができますようお手伝いさせていただきます。

渥美氏は、アジア、西太平洋建設業協会国際連盟（IFAWPICA）会長、世界建設業連盟（CICA）会長、及び社団法人CISV日本協会会長を長年にわたって勤め、国際交流に尽くしてまいりました。CISV（国際こども村）とは、「世界の平和を築くためには子供の時から機会を与え、国籍・人種・言語を越えて同じ人間であることを肌で実感させることが何より大切」という理想のもとに1951年にアメリカで始められた平和運動で、毎年世界各地で子供達を集めてキャンプを行なっています。

また、渥美健夫・伊都子夫妻は、ニューヨークのコロンビア大学に日本美術史の冠講座を寄付いたしました。これによりコロンビア大学では、日本美術史の教授職が常置されことになりました。

渥美国際交流奨学財団は、渥美氏の国際交流の促進への信念を引き継ぎ、一層の発展をめざして、活動してまいりたいと思います。若者たちがより大きな世界を知るよう支援させていただくことによって、人々の心の中に国際理解と親善の芽が生まれ、やがては世界平和への道がひらかれてゆくことを願っております。



付録

2002年度業務日誌

- 4月 8日 4月例会：食事会（日中友好会館・豫園）
9日 この日より英会話レッスン（上中級毎月2回：M.ペーレント講師）
- 5月 7日 5月例会：個人面談（9日まで）
10日 S G R A 第7回フォーラム「地球環境診断：地球の砂漠化を考える」 S G R A レポート#12
15日 2001年度会計監査
- 6月 5日 2001年度年報発行
6日 第17回理事会・評議員会（2001年度事業報告と決算報告）親睦会（6月例会）
- 7月 1日 募集要項配布開始（関東地方の大学に通知・ホームページに掲載）
8日 S G R A 投稿レポート「中国はなぜW T O に加盟したか」発行 S G R A レポート#11
19日 軽井沢リクリエーション旅行（21日まで）
20日 S G R A 第8回フォーラム in 軽井沢「グローバル化の中の新しい東アジア」
S G R A レポート#14（日英中韓国語にて出版）
- 9月 3日 9月例会：個人面談（11日まで）
30日 2003年度奨学生応募締め切り（応募者総数169名）
- 10月 1日 10月例会：食事会（インド料理ラージマハール新宿店）
2003年度奨学生書類審査
22日 S G R A かわらばん第8号「第2回日韓合同ワークショップ」発行
31日 2003年度奨学生候補者予備面接（11月7日まで）
特定公益増進法人の許可に伴う寄附のお願い（1月まで）
- 11月12日 渥美奨学生の集い（11月例会）船橋洋一評議員講演会
29日 2002年度S G R A 総会
第9回S G R A フォーラム「情報化と教育」 S G R A レポート#16
- 12月 1日 2003年度奨学生最終選考・面接
2日 12月例会：個人面談（9日まで）
12日 S G R A 投稿レポート「経済特区～フィリピンの視点から」発行 S G R A レポート#13
- 1月11日 新年会（1月例会）
- 2月 3日 2月例会：個人面談（13日まで）
8日 第10回S G R A フォーラム in お台場「21世紀の世界安全保障と東アジア」
S G R A レポート#17（日英語にて出版）
27日 第18回理事会・評議員会（2003年度事業計画と予算案）
28日 文京区関口台小学校の国際理解学級に講師派遣
（陳 姿菁・施 建明・ラン暁亮・M.ペーレント）
- 3月 1日 2002年度奨学生研究報告会（3月例会）
7日 S G R A 投稿レポート「中国における行政訴訟」発行 S G R A レポート#15
13日 2002年度奨学生最終食事会（ホテルイースト21）

2002 年度収支決算明細書

(単位：円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
<u>基本財産運用収入</u>		事業費	37,392,560
基本財産配当金	24,000,000	管理費	11,284,537
基本財産債券利息	11,573,750	次期繰越収支差額	63,593,888
基本財産預金利息	10		
<u>寄附金収入</u>			
寄附金	16,300,000		
<u>雑収入</u>			
運用財産受取利息	20,699		
貸与奨学金返戻収入	30,000		
前期繰越収支差額	60,346,526		
収入合計	112,270,985	支出合計	112,270,985

貸借対照表(2003年3月31日現在)

(単位：円)

資産の部		正味財産の部	
. 流動資産		. 基本金	
1. 現金	107,990	1. 基本財産	700,000,000
2. 普通預金	23,485,898	. 当期収支差額	63,593,888
流動資産計	23,593,888		
. 固定資産			
基本財産			
1. 投資有価証券	699,825,863		
2. 普通預金	174,137		
基本財産計	700,000,000		
奨学資金積立基金			
定期預金	40,000,000		
固定資産計	740,000,000		
資産合計	763,593,888	正味財産合計	763,593,888

財団人名簿

(2003年6月現在)

理事・監事

理事長	渥美 伊都子	C I S V日本協会会長・日本ユニセフ理事・アジア婦人友好会副会長
常務理事	今西 淳子	関口グローバル研究会代表・C I S V日本協会理事
理事	渥美 直紀	鹿島建設副社長・大興物産会長
	井内 慶次郎	日本視聴覚教育協会会長
	片岡 達治	元癌研究会癌化学療法センター主任研究員
	加美山 節	国際基督教大学評議員
	加藤 秀樹	構想日本代表・慶應義塾大学教授(総合政策)
	黒川 光博	虎屋社長
	佐藤 直子	ナオコ・カンパニ - 代表
	田村 次朗	慶應義塾大学教授(法学)
	遠山 友寛	T M I総合法律事務所パ - トナ - (弁護士)
	永山 治	中外製薬社長
	野辺地 篤郎	聖路加国際病院顧問
	宮崎 裕子	長島・大野・常松法律事務所パ - トナ - (弁護士)
監事	石井 茂雄	石井公認会計士事務所所長
	松岡 誠司	元日本債券信用銀行会長

評議員

青木 生子	日本女子大学名誉教授(国文学)・理事
明石 康	日本予防外交センター会長
秋山 光和	東京大学名誉教授(美術史)・日仏会館副理事長
渥美 雅也	東京水産振興会次長
岩崎 統子	成城学園高校非常勤講師
植田 兼司	弁護士
長岡 實	東証正会員協会顧問・日本たばこ産業顧問
根津 公一	東武百貨店社長
船橋 洋一	朝日新聞編集委員
堀田 健介	モルガン・スタンレー・ジャパン・リミテッド会長
山縣 睦	山縣有朋記念館理事長・栃木産業社長
山下 英明	世界秩序研究会顧問・企業活力研究所会長
八城 政基	新生銀行代表取締役社長

選考委員

委員長	畑村 洋太郎	東京大学名誉教授、工学院大学教授（産業機械工学）
	蟻川 芳子	日本女子大学理工学部教授（環境分析化学）
	佐野 みどり	学習院大学文学部教授(美術史)
	田村 次朗	(理事)
	平川 均	名古屋大学大学院経済学研究科教授(経済学)
	水谷 弘	専修大学商学部教授（比較文化）

事務局

事務局長	嶋津 忠廣
カウンセラー	ペ - レント・マルコム
事務局	谷原 正
	村田 由紀

奨学生名簿

1995年度奨学生

- Bambling, Michele** バンプリング、ミッシェル:博士(美術史)コロンビア大学:メトロポリタン美術館(在ニューヨーク)
- Gao Lingna** 高 玲娜:博士(社会学)一橋大学:上海大学国際交流学院教師/上海朝日商務培訓センター教師(在上海)
- Gao Weijun** 高 偉俊:博士(建設工学)早稲田大学:北九州市立大学国際環境工学部環境空間デザイン学科助教授/早稲田大学理工学部総合研究センター九州研究室客員助教授(在北九州)
- Jin Xi** 金 熙:博士(物理情報学)東京工業大学:日本SGI(株)
- Kwack Jae-Woo** 郭 在祐:博士(美術史)学習院大学:日本大学文理学部講師
- Maquito, Ferdinand** マキト、フェルディナンド:博士(経済学)東京大学:テンプル大学ジャパン客員講師/名古屋大学大学院経済学研究科外国人研究員
- Park Chul-Ju** 朴 哲主:博士(商学)慶應義塾大学:三育義明大学校流通経営学科専任講師(在ソウル)
- Park Jungran** 朴 貞蘭:博士(文学)日本女子大学:仁済大学校社会福祉学科専任講師(在韩国金海)
- Shi Jianming** 施 建明:博士(数理工学・社会工学)筑波大学:室蘭工業大学情報工学科助教授(在室蘭)
- Yao Hui** 葉 会:早稲田大学大学院(日本文学):法政大学国際文化学部非常勤講師
- Youn Seokhee** 尹 錫姫:博士(商学)専修大学:崇實大学校/仁川大学校/ソウル保険大学校非常勤講師(在ソウル)

阪神大震災被災特別奨学生

Chen Xiao 陳 曉:神戸大学大学院(医学)

Hong Der-juinn 洪 徳俊:博士(経営学)神戸大学:中華民国台湾中央大学企業管理系副教授

Wang Libin 王 立彬:神戸大学大学院(自然科学):東洋インキ製造(株)研究員

1996年度奨学生

Chantachote, Viravat チャンタチョテ、ピラバット:博士(法学)慶應義塾大学:タマサ - ト大学講師(在バンコク)

Gulenc, Selim Yucel ギュレチ、セリム・ユジェル:東京大学大学院(政治学):東京ジャーミー副代表

Khin Maung Htwe キン・マウン・トウエ:博士(応用物理)早稲田大学:Ocean Resource Production Co. Ltd 社長(在ヤンゴン)

Kim Woong-Hee 金 雄熙:博士(国際政治経済学)筑波大学:仁荷大学校国際通商学部助教授(在韓国仁川)

Lee Nae-Chan 李 來賛:博士(管理工学)慶應義塾大学:漢城大学知識経済学科(在ソウル)

Nam Kijeong 南 基正:博士(国際関係論)東京大学:東北大学大学院法学研究科助教授

Park Keunhong 朴 根弘:博士(生命理工学)東京工業大学:(在韓国)

Qiao Xin 喬 辛:博士(無機材料工学)東京工業大学:アイダホ州立大学ポスドク研究員(在米アイダホ)

Trede, Melanie Maria トレーデ、メラニー・マリア:博士(美術史)ハイデルベルク大学:ニューヨーク大学美術史研究所助教授(在ニューヨーク)

Zhao Qing 趙 青:お茶の水女子大学大学院(比較文化):(在東京)

Zhu Tingyao 朱 庭耀:博士(船舶海洋工学)東京大学:(財)日本海事協会技術研究所上級研究員

1997年度奨学生

De Maio, Silvana デマイオ、シルバーナ:博士(技術史)東京工業大学:ナポリ国立大学「オリエンターレ」助手(在ナポリ)

Fang Meili 方 美麗:博士(言語学)お茶の水女子大学:筑波大学外国人講師

Isananto, Winursito イサナント、ウィルヌシト:博士(応用科学)慶應義塾大学:インドネシア通産省皮革関連産業開発研究センター研究員(在ジョクジャカルタ)

Kim Woosook 金 外淑:博士(健康科学)早稲田大学:兵庫県立看護大学心理学系助教授(在神戸)

Laohaburanakit, Kanokwan Katagiri Noi ラオハブラナキット、カノックワン・カタギリ、ノイ:博士(言語学)筑波大学:ケソンシティー・トリニティーカレッジ非常勤講師(在マニラ)

Lee Hyang-Chul 李 香哲:博士(経済学)一橋大学:光云大学校日本学科助教授(在ソウル)

Li Enmin 李 恩民:博士(社会学)一橋大学:宇都宮大学国際学部外国人教師

Nizamidin Jappar ニザミディン、ジャッパル:博士(応用化学)東京大学:昭和電工(株)(在米サウスカロライナ)

Wang Yuepeng 王 岳鵬:博士(医学)東京大学:マサチューセッツ総合病院心臓病科研究員(在ボストン)

Williams, Duncan ウィリアムス、ダンカン:博士(宗教学)ハーバード大学:カルフォルニア大学アーヴィン校東アジア仏教文化助教授/駒沢大学研究員

Zhang Shao-Min 張 紹敏:博士(医学)東京大学:エール大学医学部ポスドク研究員(在米ニューヘブレン)

1998年度奨学生

Adiole Emmanuel アディオレ、エマニュエル:博士(政治学)東京大学:ナイジェリア・エネルギー環境研究所研究員(在ナイジェリア)

Cao Bo 曹 波:博士(建設工学)早稲田大学:北京NTTデータ会社

He Zuyuan 何 祖源:博士(先端学際工学/光電子工学)東京大学:東京大学大学院工学系研究科電子工学専攻講師

Hu Jie 胡 潔:博士(文学)お茶の水女子大学:お茶の水女子大学人間文化研究科研究員

Kim Jaesung 金 宰晟:東京大学大学院(仏教学):(在ソウル)

La Insook 羅 仁淑:早稲田大学大学院(経済学):国士舘大学政経学部非常勤講師

Lee JooHo 李 周浩:博士(電子工学)東京大学:東京理科大学工学第一部経営工学科助手

Mailisa マイリーサ:博士(社会学)一橋大学大学院:文部科学省大学共同利用機関総合地球環境学研究所外国人特別研究員

Sun Yanping 孫 艶萍:博士(医学)東京大学:ハーバード大学ブリッグム病院放射線科研究員(在ボストン)

Wu Hongmin 呉 弘敏:博士(精密工学)東京工業大学:フクダ電子(株)

Xu Xiaoyuan 許 曉原:博士(農学生命科学)東京大学:コロンビア大学ゲノムセンター(在ニューヨーク)

1999年度奨学生

Coimbra, Maria Raquel Moura コインブラ、マリア・ハケウ・モウラ:博士(資源育成学)東京水産大学:ペナンブコ大学研究員(在ブラジル)

Hong Kyung-Jin 洪 京珍:博士(化学工学)東京工業大学:東京工業大学国際開発工学科助手

Hou Yankun 侯 延琨:博士(物理電子化学)東京工業大学:**American Chemistry Society** 研究員(在米オハイオ)

Ju Yan 具 延:博士(農学)筑波大学:小西安(株)

Li Gangzhe 李 鋼哲:立教大学大学院(経済学):延辺大学客員講師/名古屋大学大学院経済学研究科外国人研究員

Mushikasinthorn, Prachya ムシカシントーン・プラチャー:博士(資源育成学)東京水産大学:カセサート大学水産自然史博物館学芸員兼講師(在バンコク)

Vu Thi Minh Chi ブ・ティ・ミン・チィ:博士(教育社会学)一橋大学:人間科学研究所(在ハノイ)

Wang Dan 王 旦:博士(音楽)東京芸術大学:バイオリニスト/昭光物産(株)

Yang Jie Chi 楊 接期:博士(教育工学)東京工業大学:国立中央大学資訊工程系助理教授(在台湾桃園)

Yeh Wen-chang 葉 文昌:博士(電子物理工学)東京工業大学:台湾科技大学電子工程科助理教授(在台北)

Zhou Haiyan 周 海燕:博士(医学)東京医科歯科大学:東海大学医学部在学中

2000年度奨学生

Jin Zhengwu 金 政武:博士(物質科学)東京工業大学:東芝(株)

Jung Jae Ho 鄭 在皓:博士(物質科学)慶應義塾大学:(在ソウル)

Jung Sung Chun 鄭 成春:博士(経済学)一橋大学:鳥取環境大学環境政策学科専任講師(在鳥取)

Ko Hee Tak 高 熙卓:東京大学(総合文化):聖学院大学人文学部日本文化学科非常勤講師
Lim Chuan-Tiong 林 泉忠:博士(国際政治)東京大学:琉球大学法文学部国際関係論専任講師(在那覇)
Molnar, Margit モルナール・マルギット:慶應義塾大学大学院(経済学):OECD研究員(在パリ)
Naiwala Pathirannehelage, Chandrasiri ナイワラ・パティランネヘラーゲ、チャンドラシリ:博士(電子情報)東京大学:東京大学大学院工学系研究科研究員
Ren Yong 任 永:博士(医学)群馬大学:ニューヨーク州立大学研究員(在米バッファロー)
Suzuki Sato, Hiromi スズキサトウ、ヒロミ:慶應義塾大学(経済学):(在東京)
Wu Yuping 武 玉萍:博士(医学)千葉大学:国立佐倉病院臨床研究部リサーチレジデント
Xu Xiangdong 徐 向東:博士(社会学)立教大学:日経リサーチセンター研究員/専修大学講師
Zeng Zhinong 曾 支農:博士(アジア文化)東京大学:(株)アジア太平洋国際交流協会社長

2001年度奨学生

Borjigin, Burensain ボルジギン、ブレンサイン:博士(東洋史)早稲田大学:早稲田大学モンゴル研究所客員研究員/学術振興会外国人特別研究員
Fan Jianting 範 建亭:博士(経済学)一橋大学:(在東京)
Jeon Jin Hwan 全 振煥:博士(環境理工学創造)東京工業大学:鹿島建設(株)技術研究所研究員
Jiang Huiling 蔣 恵玲:博士(電子情報工学)横浜国立大学:(株)NTTドコモ無線リンク開発部アンテナ伝搬技術研究員
Jin Xianghai 金 香海:博士(政治学)中央大学:延辺大学政治学部助教授/同北東アジア国際政治研究所研究員(在中国吉林省)
Kostov, Vlaho コストブ、ブラホ:博士(工学システム)東京都立科学技術大学:松下電器産業株式会社先端技術研究所(在奈良)
Lee Hyun-Young 李 炫瑛:博士(比較文化)お茶の水女子大学:市立仁川大学招聘教授(在ソウル)
Lee Young-Suk 李 英淑:博士(教育学)筑波大学:釜山大学校師範大学数学教育科非常勤講師(在釜山)
Liang Xingguo 梁 興国:博士(化学生命工学)東京大学:ボストン大学先端バイオテクノロジー・センター(在ボストン)
Lwin U Htay ルイン・ユ・ティ:博士(公衆衛生学)東京医科歯科大学:独立行政法人国立健康・栄養研究所流動研究員/学術振興会外国人特別研究員
Qi Jin Feng 奇 錦峰:博士(薬理学)東京医科歯科大学大学院:広州中医薬大学科技産業園有限公司(在広州)
Sri Sumantyo, Josaphat Tetuko スリ・スマンティヨ、ヨサファット・テトオコ:博士(人工システム科学)千葉大学:千葉大学電子光情報基盤技術研究センター講師

2002年度奨学生

Abliz Yimit アブリズ イミテ:博士(人工環境システム)横浜国立大学:横浜国立大学環境情報研究院客員研究員
Baek Insoo 白 寅秀:博士(商学)早稲田大学:大韓民国産業資源部所属産業研究院副研究委員/高麗大学非常勤講師(在ソウル)
Chen Tzu-Ching 陳 姿菁:博士(国際日本学)お茶の水女子大学:(在東京)
Cho Gyu-Hwan 曹 奎煥:博士(環境資源理工学)早稲田大学:早稲田大学理工学研究科地球科学所属助手

Hu Bingqun 胡 炳群:日本工業大学(システム工学):和井田製作所(在岐阜高山)
Iko, Pramudiono イコ、プラムディオノ:東京大学(電子情報工学)
Mandah, Ariunsaihan マンダフ、アリウンサイハン:一橋大学(地域社会学)
Mukhopadhyaya, Ranjana ムコパディヤーヤ、ランジャンナ:東京大学(宗教学宗教史):東京大学東洋文化研究所研究員
Park Young-June 朴 栄濬:博士(国際関係論)東京大学:国防大学校安全保障大学院助教授(在ソウル)
Sun Jianjun 孫 建軍:博士(日本語学)国際基督教大学:国際基督教大学アジア文化研究所客員研究員/国際日本文化研究センター研究員(在京都)
Wang Xi 王 溪:博士(電子情報工学)東京大学:東京大学電子情報工学科研究員
Yu Xiaofei 于 晓飛:博士(社会文化科学)千葉大学:日本大学法学部専任講師

2003年度奨学生

Chae Sang Heon 蔡 相憲:東京農工大学(生物生産学)
Chang Kuei-e 張 桂娥:東京学芸大学(学校教育学—言語文化)
Husile フスレ:東京外国語大学(地域文化)
Kim Hyeon Wook 金 賢旭:東京大学(総合文化—表象文化)
Kwak Jiwoong 郭 智雄:立教大学(経営学)
Lin Shaoyang 林 少陽:東京大学(総合文化—言語情報科学)
Lu Yuefeng 陸 躍鋒:東京商船大学(海洋情報システム)
Piao Zhenji 朴 貞姫:明海大学(応用言語学)
Tisi, Maria Elena ティシ、マリア エレナ:白百合女子大学(児童文学)
Yamaguchi Ana Elisa ヤマグチ、アナ エリーザ:一橋大学(社会学)
Yun Hui-suk 尹 熙淑:東京大学(材料学)
Zang Li 臧 俐:東京学芸大学(学校教育学—教育方法論)

2004年度渥美奨学生募集概要

渥美国際交流奨学財団は、関東地方の大学院博士課程に在籍する留学生を対象に、2004年度渥美奨学生を下記の通り募集します。

(1) 応募資格(下記のすべてに該当すること)

1. 日本以外の国籍を有し、関東地方の大学院博士課程に在籍し、当財団の奨学金支給期間に博士号を取得する見込みのあるもの。正規在籍年限を超えたために、或いは、他国の大学院より博士号を取得するために、研究員等として日本の大学院に在籍するものも含む。
2. 自分の所属する大学院研究科(研究室)および自分の居住地が、関東地方(東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・茨城県・栃木県・群馬県)にあるもの。
3. 国際理解と親善に関心を持ち、当財団の交流活動に積極的に参加する意思のあるもの。

(2) 交流活動

1. 当財団は、毎月の例会で学業や生活について報告していただいた上で、奨学金を支給します。
2. 毎年数回奨学生や元奨学生と当財団の理事・評議員ならびに選考委員を招き親睦会を催します。年度末には当該年度奨学生の研究報告会を催します。
3. 毎年7月に2泊3日の軽井沢リクリエーション旅行に招待します。
4. 海外学会派遣プログラム：渥美奨学生で博士号を取得したのものには、海外で開催される学会等に一回参加するための旅費・宿泊費および参加費を支給します。ただし、海外にいるものは日本への旅費にあてることができる。

(3) 奨学金の詳細

1. 奨学金は月額20万円です。2004年度は12名採用します。
2. 奨学金の支給は1年間(2004年4月~2005年3月)です。継続は認められません。

(4) 募集方法

1. 奨学金希望者は、2003年7月1日以後、各大学院の留学生担当課または当財団事務局まで、応募要項と申込書をご請求ください。また、同日以後、当財団ホームページ(<http://www.aisf.or.jp>)からもダウンロードできます。
2. 2004年度申込は、2003年9月1日から9月30日まで、郵便にて受け付けます。

(5) 選考の方法

事務局における書類審査と予備面接の後、選考委員による書類選考と面接により審査します。選考の結果は12月上旬に通知します。